

能登町における令和6年能登半島地震により発生した津波の痕跡調査報告（第1報）

2024年2月8日

岡田里奈・茂木勁吾・長尾優樹・梅田浩司（弘前大学大学院理工学研究科）

2024年2月3日に石川県鳳珠郡能登町布浦拓の内浦総合運動公園（図1）において2024年1月1日の能登半島地震により発生した津波の浸水状況の調査を行った。

空中写真判読（国土地理院，2024）から内浦運動公園（図2）全体，その対岸の水田が浸水していると推定されている。運動公園の北側に位置する九里川尻川の河口付近では写真1のような破堤箇所が見られ，破損したブロックは陸上競技場内でも見られた。今回の調査では運動公園の中でも津波浸水後にまだ整備されていない野球場および陸上競技場にて津波の痕跡である津波堆積物が確認された。陸上競技場では2.5 cm以上の砂質堆積物が全体的に堆積しており，河口に近い範囲では植物片や木などのデブリが多くみられた（写真2，3）。野球場でも同様に砂質堆積物およびデブリがみられた（写真4）。さらに，野球場では津波の勢いによって流されたと思われる排水用ブロックやフェンスが西側（一塁側）から球場全体に散乱していた（写真5）。また，公園内の樹木に引っかかっている海藻や，建物の壁面に残された浸水痕（写真6）から浸水深を測定した結果，それらの地表からの高さは55～330 cmであった。



図1 調査地域（内浦総合運動公園）および国土地理院（2024）による推定津波浸水域（地理院地図に加筆）。

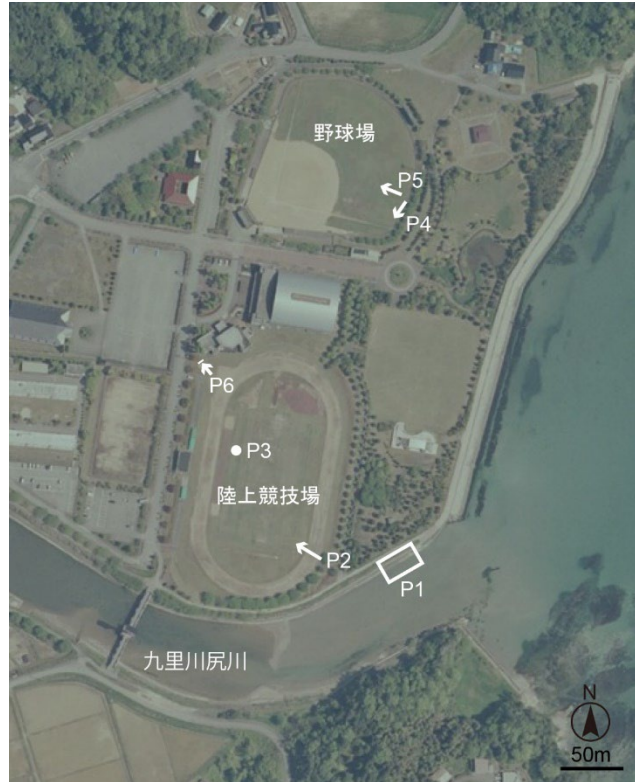


図2 調査を行った陸上競技場・野球場位置および撮影位置・撮影方向 (P1-6) (地理院地図に加筆).



写真1 (図2-P1) 九里川尻川の河口左岸付近では幅5m程度の破損箇所が見られた。



写真 2 (図 2-P2) 西側から見た陸上競技場. 河口に近い範囲は植物片や木片などのデブリが堆積していた.

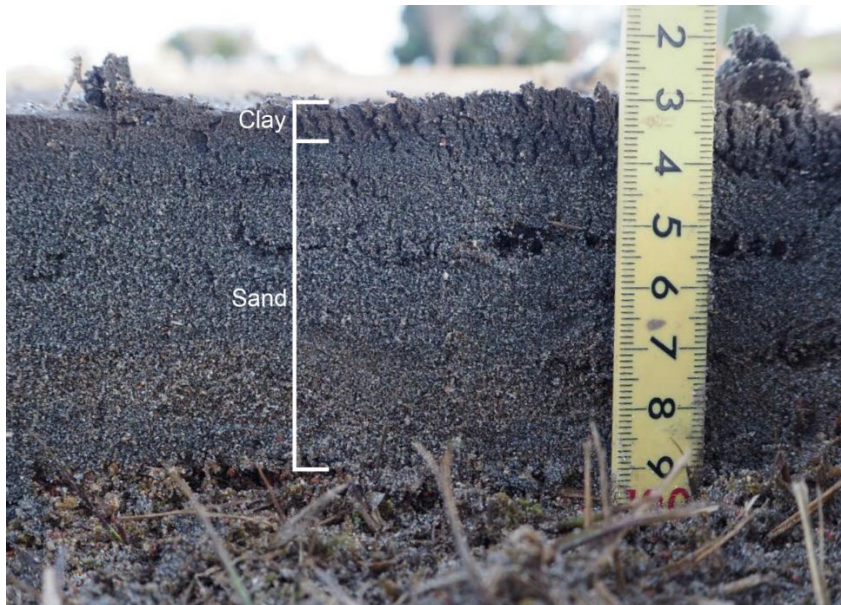


写真 3 (図 2-P3) 陸上競技場の芝生の直上に見られる津波堆積物.



写真4 (図2-P4) 野球場一塁側. 実線はフェンス, 破線は排水用ブロックが設置されていた箇所である. 津波が押し寄せどちらも野球場に散乱した状況であった.



写真5 (図2-P5) 野球場一塁側から三塁側方向. 実線囲みにみられるフェンスは写真4の実線部分(一塁側)に設置されており, 三塁側まで流されていた. また破線囲みにみられる複数のブロックは写真4の破線部分から削り出され野球場全体に散乱していた.



写真6 (図2-P6) 建物壁面に見られる浸水痕.

引用文献

空中写真判読による津波浸水域 (推定) (1月5日公表, 1月19日更新),
<https://www.gsi.go.jp/uchusokuchi/20240101noto.html> (2024年2月1日閲覧)